

令和3年1月19日

甲賀市教育委員会
教育長 西村文一様

甲南第二小学校再編検討協議会
委員長 神山 彰

甲南第二小学校再編検討協議会 報告書

甲南第二小学校再編検討協議会（以下「協議会」という）では、甲賀市教育委員会（以下「教育委員会」という）から示された『甲賀市幼保・小中学校再編計画』に対して、令和2年8月より5回にわたり、様々な論点から活発な議論を行い、甲南第二小学校における学校再編の是非について協議を進めてきました。

そのまとめとして、現在の小学校の教育および学校での生活環境に課題は感じられず、学校と地域の関係も良好であり、地域にとってかけがえのない存在でもあることから、協議会としては、甲南第二小学校の存続を希望するという結論に至りましたので報告します。

しかしながら、将来的には、子どもの数が減少してきた時など教育環境に大きな変化が生じた場合には、改めて学校再編について協議を行う必要があると考えます。

再編検討協議会における主な意見等

1. 教育委員会が再編計画で提示されている1学級の児童数35人、低学年は25人を基本とし、複数クラスを適正な学校規模とすることについては、一定の理解もできますが、長年各学年単一学級での運営であっても大きな課題は無く、今後の児童数予測においても大きな減少は見られないことから、現在の甲南第二小学校の1学級の児童数20人程度が、先生が目が行き届き、全校児童数も適正であると考えます。

また、甲南第二小学校では、大規模校よりも高学年と低学年の児童の交わりが多く、通学途中や学校生活の中で面倒を見ることで、思いやりの心や兄弟姉妹のような関係が育つ優れた環境であると考えています。

2. 今の教育環境は児童一人ひとりの個性が発揮でき、静かで勉強しやすく、親子、地域、高齢者などのつながりも良い状況にあります。友達関係に課題がある場合も、子どもが親や学校に相談できる環境が整っていることから、親の子どもへの接し方や先生方の対応により解決できると考えます。

3. 甲南第二小学校の学校運営は、少人数でも運動会や合唱などを地域とも連携しながら工夫して行っていただいております、非常に良い雰囲気です。
4. 甲南第二小学校は、地域のシンボルです。ある地域では、小学校がなくなることで子育て世帯が離れていくという話を聞きました。甲南第二小学校の存在は、私たちの地域の人口減少を抑制する要素であり、地域で子育てしやすい環境を継続するためには大切な存在です。
5. 甲南第二学区には、地域の方が学校に対して積極的に協力する風土があり、学校と地域との関係が良く、その状況を再編により壊す必要はありません。現在の教育環境、学校と地域との関係を維持することが子どもの発達の保障とこの地域の発展につながると考えます。
6. 地域にとって小学校がなくなることはデメリットになるかもしれませんが、それでも再編することによって、子どもの教育環境が今よりも良くなると思える夢のある再編計画をもう一度、再考していただく必要があると考えます。人口減少の中、人が減っていくから小学校を一つにまとめるという再編は、ネガティブしか生まないと思います。ネガティブなイメージでなくポジティブなイメージで他の小学校と一緒にしても良いと思えるような再編計画を示していただく必要があると考えます。
7. 幼少期から思春期へと成長する小学校6年間で、複数学級で学校生活を送ることは、児童が多様な物の見方や考え方に触れることができ、大人になった時に大事な能力になります。この時期をクラス替えがなく同じ児童で学校生活を送ることは避けるほうが望ましいと考えます。単一学級では、幅広い仲間との触れ合いができず、友達関係の固定化や友達間の問題をずっと引きずったまま小学校を終えなければならない場合も出てくると思います。そうしたことが、個々の児童の人格形成に影響を及ぼすことは少なくないと考えます。各学年で複数学級の実現ができる学校規模を目指すべきであると考えます。

上記のような意見を基に、今回の結果に至りましたが、市教育委員会におかれましては、今後とも、甲南第二学区の教育全般につきまして、更なるご支援、ご指導を賜りますようお願いを申し上げます、協議会の報告といたします。